

## 例題 10

助教授 濱本 正太郎

shotaro@rokkodai.kobe-u.ac.jp

2月15日までに e-mail で届いた答案は添削してお返しします。

\*\*\*\*\*

以下は、2002年1月29日付毎日新聞の記事である。

\*

\*

\*

ブッシュ米大統領は28日、国家安全保障会議(NSC)を開き、キューバのグアンタナモ米海軍基地に拘置中のアルカイダのメンバーやタリバン兵らに、戦争捕虜の人道的待遇を定めたジュネーブ条約を適用するかどうかを協議した。兵士らに戦争捕虜の身分を認めないことでは一致したが、条約適用の可否については結論を持ち越し、近く大統領が最終決断を下すことになった。

協議後、大統領は記者団に戦争捕虜と認定しない理由について「アルカイダは既存の軍人ではない。殺人者で、テロリストだ」と述べ、国家間の戦争でないことなどを挙げた。しかしジュネーブ条約は、内乱も含むすべての武力紛争に適用されるとしており、政権の判断は今後も議論を呼びそうだ。

兵士らの取り扱いについて国際的批判が高まるなか、パウエル国務長官が同条約を適用しよう大統領に再考を促す内部メモの存在が報道され、条約適用をめぐる政権内の意見対立が表面化したため、早急に結論を出すことになった。

\*

\*

\*

問 アメリカ合衆国政府の立場を批評せよ。次の2点に分けて回答すること。

1. アルカイダ兵(タリバン兵)は国際人道法上の捕虜か。
2. 本件紛争に1949年ジュネーブ諸条約は適用されるか。